

大村工業高校 野球部OB会設立に寄せて

野球部OB会立ち上げに尽力して頂いた皆さん、そしてその熱い想いに応えてくださった多くのOBの皆様には心から敬意を表します。

野球部創設からの7年間については別項に掲載して頂いていますので重複を避けます。

直接に指導に関わらない時間の方が長いのですが、私の人生の大半、50年は野球部と共にありました。生みの親ならではの特別の想いで野球部の成長の過程を見つめてきました。

母親が我が子に託す夢は「末は博士か大臣か」ではなく、健やかな成長ただ一つと聞きますが、欲張りながら私の願いは二つあります。

まず一つは野球部の甲子園初出場です。二つ目はOB諸君が一社会人として、職場や地域にとって欠くべからざる存在であって欲しいというものです。

甲子園は目前だと感じたのは、昭和54年夏の大会準決勝で不運な名遊撃手正面のイレギュラーヒットによる、悔やんでも悔やみきれない敗戦でした。ネット裏では、この試合の勝者が優勝だとの評価で一致していました。事実、この試合を制したチームが決勝で相手チームに圧勝しました。(決勝でなければコールドの点差で勝負はつきました)

その後の各年においてもベスト8、ベスト4は当たり前の成績を残し、強豪チームの一角を占めてきました。

そして昨年の決勝です。「0対1」です。またもや悔しい敗戦で甲子園出場を逃しましたが、大村工業高校野球部は46年前からの先輩諸氏によって脈々と受け継がれてきた伝統が見事に花開く時が目の前だと実感させてくれました。

今回のOB会発足を機に、母校のグラウンドで練習に汗を流し、試合では悔し涙を流した経験を共有する先輩、後輩諸君が母校野球部の更なる発展を後押しし、加えて公私にわたる新たな交流の場となり、皆様やご家族様の人生をより豊かなものへと導く源泉となりますようお願いしております。

更なるご健勝をお祈りしてお祝いの言葉と致します。

2017年10月28日 谷川成昭

追記

ホームページの立ち上げおめでとうございます。

ホームページは更新が命と聞きます。

管理者のご苦勞が偲ばれます。ご苦勞様です。

どうぞ皆さん、それぞれが加盟する軟式、ソフトの試合における活躍や珍プレイなど記事と写真をネット添付で管理者にお届けください。

遠く離れていても新たな交流の場となるはずです。ご協力よろしくお願いします。